

財団法人 8020 推進財団

平成 19 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名 : 平塚市子育て支援歯科保健事業「はははプラン」

2. 申請者名 : 有近徳幸

3. 実施組織 : 社団法人平塚歯科医師会

4. 事業の概要 :

社団法人平塚歯科医師会では、平塚市、平塚市医師会、昭和大学歯学部小児成育歯科学教室および神奈川県歯科衛生士会湘南支部平塚ブロックの協力を得て、“歯を通じた子育て支援”を目的とする「平塚市子育て支援歯科保健事業（はははプラン）」を実施した。

本事業は①妊産婦歯科講演会の開催、②ははは手帳の作成、③モデル健診の実施という 3 つの部分からなり、母子保健対策事業検討委員会が管轄した。

5. 事業の内容 :

母子保健対策事業検討委員会同委員会は歯科医師、医師、行政担当者、学識経験者の 11 名により構成され、開催回数は 11 回であった。

妊産婦歯科講演会は平成 19 年 7 月 11 日(水)に開催され、歯科医師・行政母子保健事業関係者など合計 93 名が出席した。

「ははは手帳」の内容は妊娠中および出産後に必要な歯科保健の知識、歯科受診に関する注意事項、歯科健診票とし、2,900 部を作成した。

モデル健診では妊産婦の歯科検診・保健指導・相談を実施した。受診者は 14 名であり、内訳は妊婦 12 名、産婦 2 名であった。

6. 実施後の評価（今後の課題）:

妊産婦歯科講演会により、妊産婦への歯科からの支援や妊娠期の歯科治療に関する知識、情報を会員と行政の母子保健事業関係者が共に研修し情報を共有できたことは、今後のプラスになると思われる。また、ははは手帳を作成することで、妊婦が自身と子のために必要な知識を得、口腔を健やかに保つためのツールを得ることができた。一方、モデル歯科健診後のアンケートを見ると、回答者 13 名中 6 名の者がこの健診がなければ妊娠中に歯科健診は受けなかったと回答し、自由記載欄の内容は概ね好意的で、健診事業の拡張を望む意見が多く、事業の意義が確認された。しかし、当初 30 名の健診実施を予定したが 14 名となってしまった。今後は、産婦人科との連携を図るなどの、周知方法にさらなる工夫が必要と思われる。